

フィリピン共和国調査団

派遣事業報告書

平成28年11月13日(日)～17日(木)



綾部市 企画政策課

目 次

1. 事業概要	P 1
2. 日程表	P 4
3. 調査団の構成	P 5
4. 主な訪問市の概況	P 7
5. 地図	P 8
6. 渡航日程の概要	P 1 1
1 1月1 3日 (日)	P 1 1
1 1月1 4日 (月)	P 1 3
1 1月1 5日 (火)	P 2 6
1 1月1 6日 (水)	P 3 0
1 1月1 7日 (木)	P 3 7
参 考	P 3 9



1. 事業概要

<趣旨・目的>

今回の調査団の派遣は、同じアジア圏域にあるフィリピン共和国を対象として、「Ⅰ 商工業分野等の産業交流」、「Ⅱ 外国人材の受入れ」、「Ⅲ 英語教育をはじめとする国際理解教育」の3点をメインテーマに設定し、その可能性について、調査を行ったものである。

<日 程>

平成28年11月13日（日）～17日（木）（4泊5日）

<主な訪問先>

州・市	訪 問 先	関連分野
セブ州 マンドラウエ市	①サン ミゲル コーポレーション	Ⅰ 産業交流
	②マンドラウエ市役所	全般
	③ベネディクト カレッジ	Ⅱ 外国人材の受入れ
	④プロフード インターナショナル コーポレーション	Ⅰ 産業交流
	⑤ブリリアント セブ イングリッ シュ アカデミー	Ⅲ 国際理解教育
	⑥セイクリッド ハート スクール アテネオ セブ	Ⅲ 国際理解教育
	⑦ヴィトー セルマ デザイン スタ ジオ	Ⅰ 産業交流
マニラ首都圏 マカティ市 パサイ市	⑧フィリピン日本人商工会議所	Ⅰ 産業交流
	⑨在フィリピン日本国大使館	全般
ブラカン州 マロロス市	⑩グローバル アークス テクニカ ル&ボケーショナル スクール	Ⅱ 外国人材の受入れ
	⑪ブラカン州政府	全般
	⑫ローズ エンジェルス モンテッ ソーリ スクール	Ⅱ 外国人材の受入れ
ラグナ州 ビナン市	⑬富士通ダイテック コーポレーシ ョン	Ⅰ 産業交流



<総括>

全般

- フィリピンでは、連日、気温は約30度、交通渋滞もある中で、4泊5日の日程のうち実質3日間に5都市13か所を訪問するというハードスケジュールであったが、非常に濃密で有意義な訪問となった。
- 宗教的（キリスト教＝カトリック）倫理観により、明るくフレンドリーでホスピタリティ（おもてなしの気持ち）が高く、家族を大切にする国民性である。アジアで最も男女平等な国と言われ、女性が生き生きと働ける環境や出生率が高く平均年齢が20代という豊富な人材などを背景に、活気と魅力にあふれた国との印象を受けた。
- 治安については、外務省の危険情報ではレベル1（十分注意してください。）となっていたが、都市計画が成熟していないものの、観光立国を目指しているためか、今回の訪問先や空港等に限っては、特に大きな不安は感じられなかった。ただし、渋滞時の専用バスの窓越しなどでは、子ども達が物売りをする姿も見受けられるなど貧富の差が顕著であることを垣間見ることもあった。
- マンダウエ市やブラカン州政府のほか、各訪問先における現地フィリピン人との懇談、関係施設の視察だけでなく、フィリピン日本人商工会議所・在フィリピン日本国大使館、日本語学校や日本人経営の英語学校、立地企業など、現地で活動を展開する日本人との懇談など、両面の視点から調査を行うことができた。
- 今回の移動手段は、専用貸切バスを使用した。特に、マンダウエ市内、マニラ首都圏周辺などは、自動車社会の発展により慢性的に渋滞が発生しており、ポリスエスコートがなければ、かなりの移動時間を要する状況である。
- ジプニー、トライシクルという小回りの利く車両を年齢層の若い青年が運転している姿が見受けられ、渋滞事情もあり車間距離もほとんどなく、隙間を縫うように走る運転技術を要するという印象である。

I 産業交流

- 日本は、フィリピンにとって最大の貿易国であるとともに、経済成長率がASEAN主要国の中でもトップクラスで、若く豊富な労働力に支えられ、GDPも高い成長率を維持しており経済発展は著しい。
- 国民の9割が英語を話し、人件費も安いといわれている。また、出生率も高く、恒常的なベビーブームで、人口も1億人を超えている。「人件費の安さ」「高い英語力」「労働力の高さ」により、日本だけでなく、中国・米国・韓国など多くの外資系企業が立地している。
- 現地法人（サンミゲルコーポレーション、プロフード・インターナショナルなど）のほか、フィリピン日本人商工会議所、在フィリピン日本国大使館、現地立地企業である富士通ダイテック工業との懇談や関係施設の視察を通じ、フィリピンにおけるビジネスの展開の参考とするとともに、産



業交流に向けた現状や実態を把握することができた。

Ⅱ 外国人材の受入れ

- 外国人材の受入れに関しては、綾部市のみならず、全国的にも介護現場での人材不足が顕著となっている。その解決方法の1つとして海外の有能な人材確保が考えられているが、制度上の制限も多い実態にある。
- 11月18日に技能実習制度の対象に「介護」を加える法案等が国会で可決され、これまで経済連携協定（EPA）でしか認められていなかった介護現場での受入れが可能となった。今後、受入側となる日本と提供側のフィリピンなど相互での適切な運用が求められる。
- 一般社団法人国際高度人材開発センター（京都市）の紹介により、現地法人（グローバル アークス テクニカル&ボケーショナル スクールなど）の視察を行ったが、将来、日本での就業を目指し、日本語を学ぶ現地の子どもたちの様子や取組を視察することができた。

Ⅲ 国際理解教育

- 国際理解教育に関しては、アジア圏内で英語を公用語としているフィリピンを中学生の派遣先の候補地として検討するに当たっては、現地の学校と日本の学校との交換留学などの実績はあるものの、現時点ではホームステイ先の確保や治安面などが課題であると考えられる。
- 一方で、日本人が経営する語学学校（ブリリアント セブ イングリッシュ アカデミーなど）については、一定のコストは要するものの、安全性の高い住居機能などを備えており、企業におけるグローバル人材の育成等の候補先として、検討の余地はあると考える。

<所要経費> ※市負担分のみ

支出科目	金額	摘要
①報償費	69,764 円	手土産品
②旅費	535,300 円	日当・宿泊料（定額）
	451,290 円	航空運賃（実費）
③役務費	276,000 円	現地交通費(ガイド・バス料金)
	36,050 円	傷害保険料
④委託料	22,350 円	送迎バス運行手数料
⑤使用料	18,930 円	送迎バス高速料金・駐車料金
合計	1,409,684 円	

※予算額：1,531 千円



2. 日程表

※11/14(月)の午後の一部は2グループに分かれて視察 (A・B)

月日	曜	都市名など	時間	交通機関	日 程
11/13	日	綾部市発 関西空港着 関西空港発 セブ空港着 マンドラウエ市	10:30 13:30 15:25 18:45 20:00 22:00	行政バス フィリピン航空 409 便 専用車	綾部市役所集合・出発 関西空港到着 関西空港出発 セブ空港到着 夕食会会場 (オイスターベイシーフードレストラン) ~21:30 (宿泊) ホテル・ラディソン・ブル・セブ
11/14	月	ホテル発 マンドラウエ市	8:30 8:30 9:30 10:45 13:00 14:00 14:30 16:00 17:15 18:00 22:00	専用車	(宿泊) ホテル・ラディソン・ブル・セブ 市内周辺視察 (車窓から) ※一部セブ市内 サン ミゲル コーポレーション ~10:30 マンドラウエ市役所 (昼食会会場も兼) ~12:45 ベネディクト カレッジ ~13:45 プロフード インターナショナル コーポレーション…A ~15:00 プリリアント セブ イングリッシュ アカデミー…B ~15:30 セイクリッド ハート スクール アテネオ セブ ~16:45 ピトー セルマ デザイン スタジオ ~17:45 夕食会会場 (ビッグ・ホテル) ~21:30 (宿泊) ホテル・ラディソン・ブル・セブ
11/15	火	ホテル発 セブ空港着 セブ空港発 マニラ空港着 パサイ市 マカティ市 パサイ市 ケソン市	7:00 8:00 9:20 10:30 11:00 13:00 16:00 20:00 22:00	専用車 フィリピン航空 2846 便 専用車	(宿泊) ホテル・ラディソン・ブル・セブ セブ空港到着 セブ空港出発 マニラ空港到着 昼食 ~12:00 市内中心部経由・フィリピン日本人商工会議所 ~15:00 在フィリピン日本国大使館 ~17:30 夕食 ~22:00 (宿泊) ルクセント・ホテル
11/16	水	ホテル発 マロロス市 ビナン市 ケソン市	8:00 9:30 11:00 11:45 12:15 15:30 20:30 22:00	専用車	(宿泊) ルクセント・ホテル グローバル アークス テクニカル&ポケーション スクール ~10:30 ブラカン州政府 (州知事表敬訪問) ~11:30 昼食会会場 (ハイベグレストラン) ~12:00 ローズ エンジェルズ モンテツソリー スクール ~12:30 富士通ダイテックコーポレーション ~17:30 夕食 ~22:00 (宿泊) ルクセント・ホテル
11/17	木	ホテル発 マニラ空港着 マニラ空港発 関西空港着 関西空港発 綾部市着	8:00 9:00 10:30 12:00 14:05 19:10 19:45 22:00	専用車 フィリピン航空 408 便 行政バス	(宿泊) ルクセント・ホテル 市内中心部視察 ~9:30 シュー マート ショッピング センター ~11:30 マニラ空港到着 マニラ空港出発 関西空港到着 関西空港出発 綾部市役所到着・解散



3. 調査団の構成

団体名・役職名		氏名
綾 部 市	市長	山崎善也
	教育長	足立雅和
	企画財政部 部長	高橋学
	福祉保健部 部長	四方裕之
	農林商工部 部長	安村和洋
	企画財政部 企画政策課 課長	岩本正信
	企画財政部 企画政策課 担当長	鎌部秀樹
関 係 団 体 ほ か	商工会議所 会頭	塩田展康
	商工会議所 専務理事	塩見勝美
	綾部鉄工工業協同組合 理事長	大槻浩平
	社会福祉法人松寿苑 理事長	鹿子木旦夫
	京都学園大学 非常勤講師	矢野裕巳

(敬称略)



(参考)【各訪問先との対比】

訪問先	山崎	足立	高橋	四方	安村	岩本	鎌部	塩田	塩見	大槻	鹿子木	矢野
① サン ミゲル コーポレーシ ョン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
② マンダウエ市 役所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
③ ベネディクト カレッジ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
④ プロフード インターナシ ョナルコーポ レーション	○				○	○		○	○	○		
⑤ ブリリアント セブ イングリ ッシュ アカデ ミー		○	○	○			○				○	○
⑥ セイクリッド ハート スクー ル アテネオ セ ブ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑦ ヴィトー セ ルマ デザイン スタジオ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑧ フィリピン日 本人商工会議所	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
⑨ 在フィリピン 日本国大使館	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
⑩ グローバル アークス テク ニカル&ボケー ショナル スク ール	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
⑪ ブラカン州政 府	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
⑫ ローズ エン ジェルズ モン テッソーリスク ール	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
⑬ 富士通ダイテ ック コーポレ ーション	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○

(敬称略)



4. 主な訪問市の概況

◆マ ندا ウ エ 市 (セ ブ 州)

- フィリピン中部の中部ビサヤ地方に属するセブ州の都市
- 面積：34.87km²
- 人口：331,320人(2010年)
- 1969年(昭和44年)6月21日に市制施行

◆マ カ テ ィ 市 (マ ニ ラ 首 都 圏)

- フィリピンのメトロ・マニラと呼ばれるマニラ首都圏に属する都市
- 面積：27.36km²
- 人口：510,383人(2007年)

◆マ ロ ロ ス 市 (ブ ラ カ ン 州)

- ルソン島中部のブラカン州の州都
- 人口：234,945人(2010年)

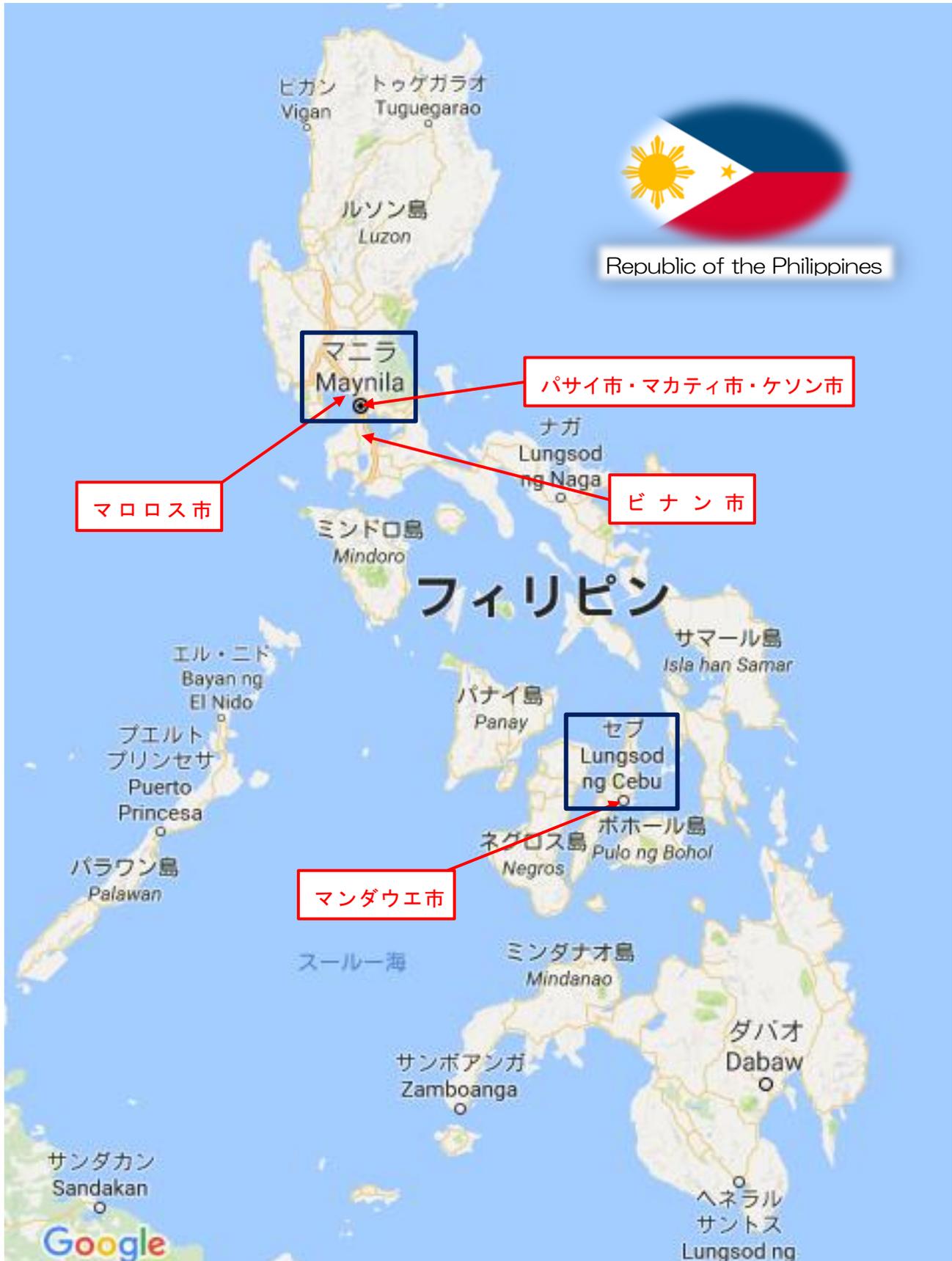
(参考) フィリピンの現況 ※外務省公表データより

- 人口：約1億98万人(2015年フィリピン国勢調査)
- 面積：299,404km² ※日本の約80%、島が7,109
- GDP：2,920億米ドル(2015年国際通貨基金)
- 経済成長率：8%(2015年フィリピン国家統計局)
- 在留邦人数：17,021人(2015年10月時点)
- 在日フィリピン人数：229,595人(2015年末法務省統計)
※全体の10.3%・国籍別第3位



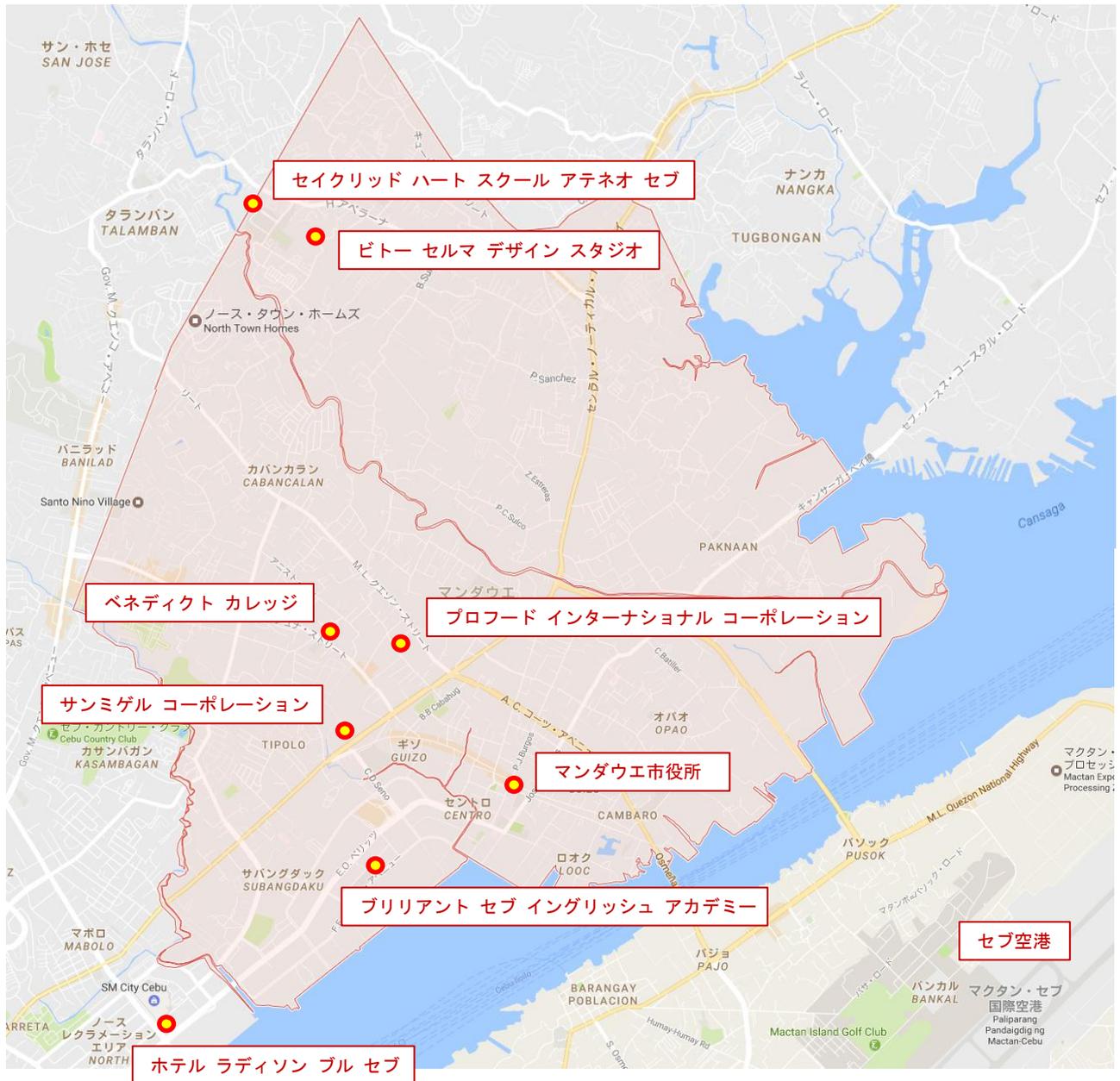
5. 地図

<フィリピン全域>





<マンドラウエ市内>





<マロロス市内>





6. 渡航日程の概要

11月13日(日) 天候：(日本)晴 (フィリピン・セブ)晴

【主な日程】

綾部市発	10:30	綾部市役所集合・出発
関西空港着	13:30	関西空港到着
関西空港発	15:25	関西空港出発（フィリピン航空 409 便）
セブ空港着	18:45	セブ空港到着
マンダウエ市	20:00	夕食会会場（オイスターベイシーフードレストラン） ～21:30
	22:00	（宿泊）ホテル・ラディソン・ブル・セブ

【全体の流れ】

☞渡航初日。綾部市役所に 10 時 30 分集合・出発で、行政バスにて関西国際空港へ。

（バス随行）企画政策課横山主事、JA 京都にのくに旅行センター西村係長

☞空港内で各自昼食をとり、関西国際空港 15 時 25 分発のフィリピン航空 409 便にてマクタン＝セブ国際空港に 18 時 45 分に到着。

☞セブ空港では案内ガイド、マンダウエ市関係者らの出迎えを受ける。事前の調整により入国手続きは円滑に終了し、専用バスにてポリスエスコートによる白バイの先導を受けながら夕食会会場まで移動。バス車内には綾部市旗を掲揚。

☞夕食会会場では、スタッフや子どもたちの歓迎の出迎えを受ける。その後も子どもたちの楽器の演奏で盛り上がる中、フォーチュナ副市長ら関係者と懇談。

☞宿泊は、ホテル・ラディソン・ブル・セブ。マンダウエ市からの要請を受け、当ホテルを選定。

【夕食会会場（オイスターベイシーフードレストラン）】

☞スタッフ数名と約 30 人の子どもたちが会場までの両サイドに並んで出迎え。夕食会の間も楽器の演奏で会場は盛り上がる。

☞夕食会には、約 30 人のマンダウエ市役所職員、議会関係者らが出席。メインテーブルに綾部市側とマンダウエ市側約 10 人が向かい合って配席。

☞司会進行はマンダウエ市役所のバザン氏（秘書担当）で、双方の関係者紹介と山崎市長のあいさつで夕食会が始まる。マンダウエ市のキソンピン市長は不在で、フォーチュナ副市長をはじめとするメンバーと懇談（約 1 時間 30 分）

☞翌日 14 日の事前調整が不十分のところが、矢野裕巳氏の仲介で再調整。14 日午後は日程がダブルブッキングのため、2グループに分かれて視察を行うことで決定。（追加車両の手配、ポリスエスコートはマンダウエ市で対応。）



子どもたちの楽器の演奏①



子どもたちの楽器の演奏②



子どもたちの演奏に聞き入る出席者



記念撮影（夕食会場にて）



11月14日(月)

天候：(フィリピン・セブ) 晴

【主な日程】

マンダウエ市	8:30	(宿泊) ホテル・ラディソン・ブル・セブ
	8:30	市内周辺視察(車窓から) ※一部セブ市内
	9:30	サン ミゲル コーポレーション ~10:30
	10:45	マンダウエ市役所 ~12:45
	13:00	ベネディクト カレッジ ~13:45
	14:00	プロフード インターナショナル コーポレーション…A ~15:00
	14:30	ブリリアント セブ イングリッシュ アカデミー…B ~15:30
	16:00	セイクリッド ハート スクール アテネオ セブ ~16:45
	17:15	ビトー セルマ デザイン スタジオ ~17:45
	18:00	夕食会会場(ビッグ・ホテル) ~21:30
	22:00	(宿泊) ホテル・ラディソン・ブル・セブ

【全体の流れ】

☞ 渡航 2 日目。マンダウエ市中心の 1 日。ホテルを 8 時 30 分に出発し、セブ市内の遺跡や市場などが立ち並ぶ中心部を車窓から見学。

☞ 主にマンダウエ市から用意されたスケジュールをベースに市内の各施設を視察。(サンミゲルコーポレーションを出発点としてビトーセルマデザインスタジオまで計 7 施設。)

☞ マンダウエ市役所では、キソンピン市長夫妻をはじめとする関係者約 100 人の出席のもと、フレンドシップセレモニーが開催。

☞ 7 施設の視察終了後、マンダウエ市内のビッグホテルにて夕食会が開催。

☞ 宿泊は、ホテル・ラディソン・ブル・セブ(連泊)。

【市内周辺視察】

☞ ホテルから専用バスにて、セブ市内中心部を車窓から見学(約 30 分)

☞ 外敵の侵入を防ぐための要塞(サン・ペドロ要塞：セブ市内)の跡地、行商などが行われているマーケット(カルボン・マーケット：セブ市内)などを車窓から見学。市場に果物や食べ物が陳列され、人々が行き来しているが、安全面などは未知数で、貧富の差なども垣間見れる。



ホテル ラディソン ブル セブ



専用バスを先導する白バイ



サン・ペドロ要塞

【サン ミゲル コーポレーション】

○所在地：M.C.Briones Street, Mandaue City

○相手方（代表者）：RICARDO L. TABLANTE

○フィリピンのナンバーワンビールである「サンミゲルビール」をはじめ、清涼飲料、洋酒、食料品などを扱う大手食品会社。ビール商品としても「ライト」「イーグル」「スーパードライ」「レッドホース」など数種類を製造。

☞会議室（ホール）で、担当者がパワーポイントにより概要説明（約 30 分）

☞続いて、ホール横の別室にて懇談（約 30 分）



工場担当者による説明



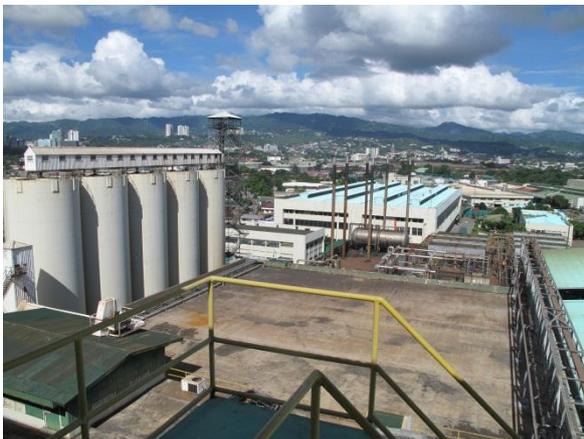
記念撮影（ホールにて）



工場の外観①



工場の外観②



工場の外観③

【マンダウエ市役所】

○所在地：Mandaue City Hall Centro, Mandaue City

○相手方（代表者）：LUIGI R. QUISUMBING（市長）

☞庁舎前の道路沿いには綾部市を歓迎する掲示板（横断幕）が設置され、玄関前ではダンサーが踊り歓迎を受ける。両サイドに人が立ち並び拍手の中を2階にあるホールまで進む。



☞2階ホールでは、約100人の市関係者（綾部市関係者を含む。）らが集まっており、メインテーブルに綾部市側とマンダウエ市側約10人が向かい合って配席。周りにも約10人掛けのテーブルが6つほど並ぶ。

☞司会進行はリーガルオリバ氏。綾部市側1人1人の紹介を受けた後、日本とフィリピンの国歌斉唱。続いてマンダウエ市フォーチュナ副市長の歓迎のあいさつ、バザン氏のマンダウエ市の紹介、綾部市紹介用DVDの放映の後、マンダウエ市キソンピン市長・綾部市山崎市長がそれぞれメッセージを送る。（綾部市長のメッセージは矢野裕巳氏が同時通訳）

☞マンダウエ市からは、お菓子の詰め合わせ（市長夫人から）、プソランプ（レメディオ議長から）、市勢要覧（フォーチュナ副市長から）、シンボルキー（キソンピン市長から）などが贈られた。また、ゲストブックにそれぞれサインを行った。

☞綾部市からは、まゆピー人形、黒谷和紙製品（コースター、名刺入れ）、扇子などを送った。

☞その後、食事（昼食）をとりながらの懇談となったが、舞台では青少年による美しい合唱が披露され、場を和ませた。



歓迎の掲示板（市役所前）



マンダウエ市役所①



マンダウエ市役所②



玄関前でのお出迎え



キソンビン市長あいさつ



山崎市長あいさつ ※左側は矢野裕巳氏



キソンビン市長夫人からの贈り物（お菓子詰合せ）



マンダウエ市議会議長からの贈り物（ランプ）



記念撮影①（ホールにて）



記念撮影②（ホールにて）



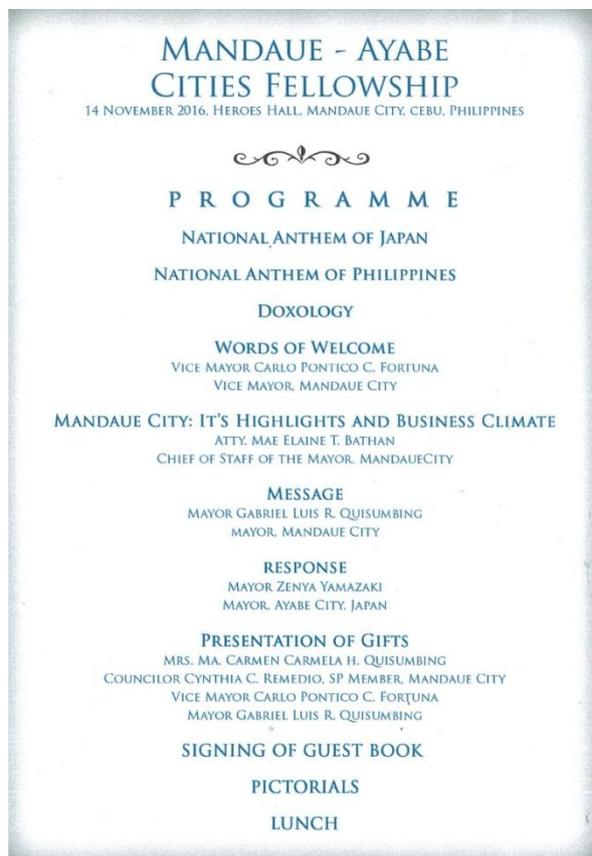
青少年による合唱披露



記念撮影③（市役所玄関前にて）
※左側はフォーチュナ副市長



新聞記事



歓迎レセプションしおり

【ベネディクト カレッジ】

○所在地：A.S.Fortune Street, Mandaue City

○2000年（平成12年）に元フィリピン外交大使 Francisco L. Benedicto によって設立された技能学校で、4年制と2年制などのコースがあり、看護、情報技術、コンピュータ、病院経営、会計士、ビジネス経営などの各種科目を学ぶことができる。



☞子ども（学生）たちによる歓迎を受ける。

☞会議室にて、担当者からビデオによる概要説明を受けながら懇談。（約 20 分）

☞技能実習（溶接作業など）の現場を見学（約 10 分）



学生たちによる歓迎（玄関前）



記念撮影（展示用バスにて）



記念撮影（ホールにて）



溶接作業の見学



展示用バス



作品集の展示（展示用バスにて）



【プロフード インターナショナル コーポレーション】

○所在地：Highway Maguikay, Mandaue City

○相手方（代表者）：JAVEN S. UY

○フィリピン国内に4つの支社を持つ大手食品会社で、マンゴーやパイナップル、グアバなどの果物を原材料としたドライフルーツや飲料などを製造している。

☞マンダウエ市との日程調整の関係で、2グループに分かれたAグループとして施設を見学。

（市長、安村、岩本、塩田、塩見、大槻）

☞担当者による施設内の案内を受けながら、工場内を見学（約30分）



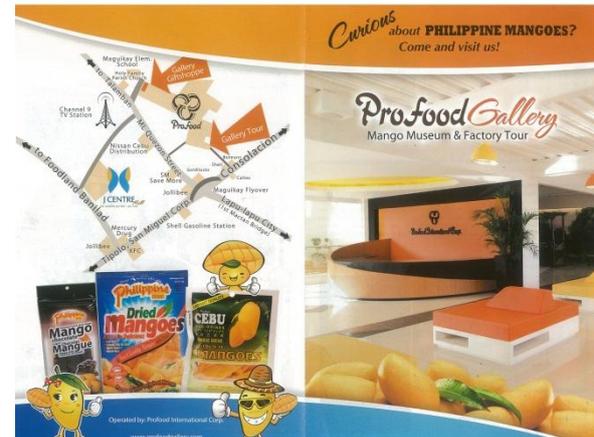
担当者からの説明



記念撮影（建物前にて）



ロゴマークなどの掲示



パンフレット

【ブリリアント セブ イングリッシュ アカデミー】

○所在地：8F, Robinland Building Zuellig Avenue Mandaue Reclamation, Mandaue City

○相手方：高橋吉昭代表、岡崎担当者

○フィリピン留学では数少ない100%日本資本で設立されている語学学校で、TESDA（フィリピン労働雇用技術教育技能教育庁）に登録し、フィリピン政府認定を受けている。



☞ マンダウエ市との日程調整の関係で、2グループに分かれたBグループとして施設を見学。

(教育長、高橋、四方、鎌部、鹿子木、矢野)

☞ 比較的大きな雑居ビル (Robinland Building) 内の8階にテナントとして入居しており、担当者の案内で各教室、宿泊施設、食堂・ホール、ジム施設、売店などを視察。

☞ フィリピン国内に日本人を対象とする英語学校が数多くある中で、安全性・機能性などを重視しており、他の施設との差別化を図っている様子。

☞ 対象者としては、学生よりも大人向けといった印象で、価格もやや高く設定されている。



担当者との懇談① (会議室にて) ※右端が岡崎氏



担当者との懇談② (会議室にて)



教室棟の様子 ※狭いフロア内に教室が並んでいる



教室内の様子 ※マンツーマンの教室



食事棟の様子



宿泊棟の様子



ランドリー施設前の様子



記念撮影（受付前にて） ※後列中央左側が高橋代表

【セイクリッド ハート スクール アテネオ セブ】

○所在地：H. Abellana Street Canduman, Mandaue City

○相手方（代表者）：VICENTE R. TAN

○1955年（昭和30年）に設立したイエズス会の聖心学校で、小・中・高の教育機能を備えており生徒数は約3,000人。

☞会議室（ホール）で担当者から学校の概要等について説明を受ける。（約20分）

☞その後、敷地内の校舎の外観を見学（約20分）。広大な敷地で校舎も比較的新しい建物で、日本の学校にも劣らぬ設備が整っている印象。将来的にリーダーとなるような富裕層の学生・生徒が通っていると感じられた。



ホールや食堂のある建物



担当者による説明



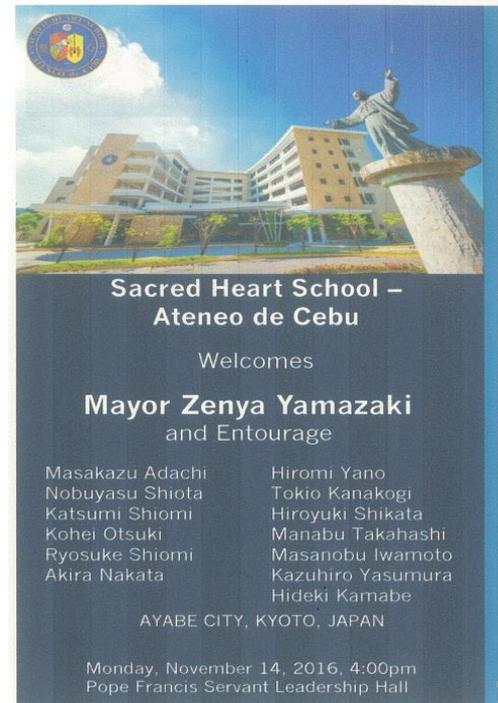
記念撮影（ホールにて）



記念撮影（学校内中庭にて①）



記念撮影（学校内中庭にて②）



歓迎セレモニーのしおり



【ビトー セルマ デザイン スタジオ】

○所在地：Don Sergio Suico Street, Canduman, Mandaue City

○デザインに富んだ家具製品を揃え、展示と販売等を行う事業所で、世界的に輸出等を行っている。

☞マンダウエ市で最後の視察先となったが、広大な建物の中に比較的大きめの家具素材が並び、

☞奥側に綺麗な展示室が設置されており、日本でいうアトリエのような雰囲気デザイン性に富んだ家具が展示されている。



展示室の表示



展示ルーム



デザイン性に富んだ椅子



幾何学的なデザインの掲示

【夕食会（ビッグホテル）】

☞マンダウエ市内の行程で初めての雨模様の中、玄関前ではダンサーがお迎え。時間の調整により控え室で待機。(約 1 時間)

☞ホテル 4 階の大ホールにてマンダウエ市、議会、商工業関係者など約 80 人規模での食事会が開宴。10 人弱が座ったテーブルが 8 程度並び、結婚式披露宴並みの規模。

☞さまざまな踊りや歌が余興として舞台上で演じられる中で、竹を使ったバンブーダンスを踊り、綾部市側全員で「すきやきソング=上を向いて歩こう」を披露した。



山崎市長のスピーチ



夕食会場の様子



記念撮影① ※市長右側がキソンビン市長



記念撮影② ※市長左側がオリバ氏、右側がバザン氏



記念撮影③



11月15日(火)

天候：(フィリピン・セブ) 曇り (マニラ) 雨

【主な日程】

ホテル発	7:00	(宿泊) ホテル・ラディソン・ブル・セブ
セブ空港着	8:00	セブ空港到着
セブ空港発	9:20	セブ空港出発 (フィリピン航空 2846 便)
マニラ空港着	10:30	マニラ空港到着
パサイ市	11:00	昼食 ~12:00
マカティ市	13:00	市内中心部経由・フィリピン日本人商工会議所 ~15:00
パサイ市	16:00	在フィリピン日本国大使館 ~17:30
ケソン市	20:00	夕食 ~22:00
	22:00	(宿泊) ルクセント・ホテル

【全体の流れ】

☞ 渡航 3 日目。セブからマニラへの移動日。ホテルを 7 時に出発し、白バイの先導により 8 時にはマクタン=セブ国際空港に到着。

☞ セブは晴れ模様だったが、マニラ (ニノイ・アキノ) 空港着陸時には雨模様。

☞ 空港からマカティ市に向かう途中でパサイ市のゴールデンベイレストランにて昼食。

☞ 途中、渋滞があるも予定時刻より早くにマカティ市に到着し、中心部を専用バスから見学。フィリピン日本人商工会議所には 14 時に到着。

☞ フィリピン日本人商工会議所を 15 時過ぎに出発し、在フィリピン日本国大使館に 16 時に到着。

☞ 在フィリピン日本国大使館を 17 時 30 分に出発し、ホテルへ向かう。途中マニラ首都圏内では慢性的な渋滞に合い、ホテルまで約 2 時間を要した。

☞ 宿泊は、ケソンシティのルクセント・ホテル。

【フィリピン日本人商工会議所】

○所在地：22 F, Trident Tower, 312 Sen Gil Puyat Avenue, Salcedo Village, Makati City

○相手方：副会頭・専務理事 藤井 伸夫 氏、事務局長 羽生 明央 氏

○フィリピンに進出している日本企業の会員組織で 1973 (昭和 48) 年 11 月に設立。2011 (平成 23) 年 9 月末現在で 495 法人が会員となっている。

☞ 商工会議所で用意いただいた資料をベースに、藤井副会頭がフィリピンの事情を説明。

☞ 藤井副会頭の主なコメント

- ・フィリピン日本人商工会議所は、日本人 2 人 (藤井氏・羽生氏) + フィリピン人 2 人の 4 人体制。
- ・労働人口約 4,000 万人中、約 1,000 万人が出稼ぎ、銀行への出稼ぎからの約 2.5 兆円 (国家予算約 6 兆円)。
- ・55%がサービス業でありインドと近い状況。2 次産業が少なく約 400 万人。



- ・富の偏在が著しく、5段階（A～E階層）分類の上位2層がわずか2%。
- ・平均年齢は23歳で、ビジネス公用語は英語。英語を母語としない国の中ではレベルは高い。
- ・コールセンター業務の従事者が世界一で、ビルのテナントにコールセンターが入っている場合は、1階にコンビニがセットで立地している場合が多い。
- ・宗教は、カトリック教が88%、イスラム教が3%であり、離婚ができないため、シングルマザーが多い傾向にある。
- ・経済成長率はASEANで第2位。物価は低く失業率は約7%で、労働組合組織率が低い。
- ・フィリピン国内で最も金持ちなのは、SMマート（シューマート）のオーナーであるヘンリーシー。アヤラ財閥（マカティ市にはアヤラストリートがある。）も大富豪の1人。
- ・立地企業の規模としては、一条工務店は従業員数約2万人、エプソン・東芝なども約1.5万人である。

*日本人商工会議所の資料より（抜粋）

- ・GDP成長率は、ASEANの中でベトナムと並びトップクラスで中国に次ぐ成長。
- ・貿易は、日本・米国・中国が中心で輸入超過が続く。
- ・失業率は、7%前後と高止まり（ASEANでワースト）するも近年下落傾向。
- ・人口は、合計特殊出生率が3.1と高く（ASEANで最高）、平均年齢は23歳。
- ・社会構造は、家計収入5万円以下で暮らす世帯（D・E階層）が8割。
- ・日系企業は、平成27年10月時点で1,448社。
- ・フィリピン人は、明るく若くて勤勉、手先の器用さなど東南アジア内で引けを取らない。人件費は、日本の8～10分の1。
- ・男女差別が一切なく、労働組合組織率が8%台と低く、労働問題が圧倒的に少ない。
- ・英語能力は、非英語圏ではトップレベル（指数7.0）※母語の場合が10.0、日本は4.0以下



表札



面談の様子① ※手前から羽生事務局長、藤井副会頭



面談の様子②



記念撮影（会議室にて）※中央が藤井副会頭

【在フィリピン日本国大使館】

○所在地：22 F, Trident Tower, 312 Sen Gil Puyat Avenue, Salcedo Village

○相手方：伊^{いより}従誠経済公使、榎広之一等書記官、渡邊卓弘二等書記官

☞伊従経済公使は、昨年10月に在フィリピン日本国大使館に赴任。

☞伊従経済公使からの主なコメント

- ・モータリゼーションが進み、自動車が40万台程度に増加。日本車が強い傾向にある。
- ・ビザの緩和等により、来日者数が従来の約7.5万人から約30万人に増加。（日本からは約50万人）
- ・立地企業数も約1,000社から約1,500社と大きく伸びている。
- ・1次、2次、3次産業の割合は、概ね1：3：6で、サービス業が強く、製造業はエンジニアが弱い。
- ・人材育成により高度人材を養成しても、米、中東、中国、日本などへ転出してしまう。
- ・技能実習制度については、参議院で可決すれば、これまでの農業や建設関係に加え、介護関係も可能となる。（11/18に参議院可決）
- ・経済連携協定（EPA）による受入れは、看護師が約8%で、合格率も低く、マッチングが課題。
- ・日本とフィリピンとの友好都市（姉妹都市）締結については、最近はあまりないという印象。
- ・高村元外務大臣により、平成28年6月に日比谷公園に第二次世界大戦の碑が作られた。（キリノ第6代フィリピン大統領の顕彰碑）
- ・輸入は中国が、輸出は日本が1位。
- ・17世紀頃の中国系出身者が多い傾向にある。
- ・来年、フィリピンがASEANの議長国となる予定。
- ・在フィリピン日本国大使館の石川大使がドゥテルテ大統領の就任後初の面談者である。
- ・ドゥテルテ大統領出身のダバオ市は、1900年頃には日本人が2万人住んでおり、今のダバオの基礎となったと言われており、記念のモニュメントがある。



記念撮影（玄関にて） ※前列市長左側が伊従経済大使



11月16日(水)

天候：(フィリピン・マニラ) 晴

【主な日程】

ケソン市	8:00	(宿泊) ルクセント・ホテル
マロロス市	9:30	グローバル アークス テクニカル&ボケーショナル スクール ~10:30
マロロス市	11:00	ブラカン州政府(州知事表敬訪問) ~11:30
マロロス市	11:45	昼食会場(ヘイペグレストラン) ~12:00
マロロス市	12:15	ローズ エンジェルス モンテッソーリ スクール ~12:30
ビナン市	15:30	富士通ダイテックコーポレーション ~17:30
ケソン市	20:30	夕食 ~22:00
ケソン市	22:00	(宿泊) ルクセント・ホテル

【全体の流れ】

☞ 渡航 4 日目。ケソン市のルクセント・ホテルから(一社)国際高度人材開発センター・藤野英治理事・事務局長がバスに同乗しガイドを兼ねて案内していただく。道中では、EPA(経済連携協定)や技能研修制度の現状、課題などを丁寧に解説。アジアヒューマンリソース合同会社中西威人氏が先導。

☞ マロロス市内の日本語学校 2 校でも、子ども(学生)たちの熱烈な歓迎を受ける。マンダウエ市役所と同様のセレモニーが開催された。

☞ ブラカン州政府では、市民開放日の人混みの中でアルバラド州知事らと面会。

☞ マロロス市内の日程が押し気味に推移する中で、昼食会場(Hapag Restaurant)・モンテッソーリスクールは各 15 分程度で切り上げ。

☞ マロロス市からビナン市の富士通ダイテック工業までは約 90 km。高速道路出口で村山氏・石井国雄氏(東京鋳兼社長)と合流し、何とかアポ時刻の 15 時に工業団地入口に到着したものの、関門の手続きの関係で約 30 分足止めとなり、工場へは 15 時 30 分頃に到着。(移動時間約 3 時間)

☞ 富士通ダイテック工業では、2 つの工場を視察し、17 時 30 分頃まで滞在。ホテルまで約 60 km。工業団地周辺とマニラ近郊で大渋滞に巻き込まれる中、ホテル到着が 20 時 30 分頃となった。(移動時間約 3 時間)

☞ 宿泊は、ルクセント・ホテル(連泊)。

【グローバルアークステクニカル&ボケーショナルスクール】

○所在地：Block6, phase7, Rocka Villegge II, Tabang, Plaridal City ※厳密にはマロロス市ではない

○相手方(代表者)：MS.BELINDA B. BARTOLOME

○介護と看護の人材を確保するため、現地の優秀な人材を発掘し、日本語や伝統文化の教育を通じて高度人材の育成を図る教育養成学校。

○京都市下京区にある一般社団法人国際高度人材開発センター(理事長米村紀幸氏)が取り組むプ



プロジェクトの実現のための現地運営法人として2014年（平成26年）11月に設立。

- ☞ 玄関前では、子ども（学生）たちの熱烈な歓迎を受ける。マンドラウエ市での歓迎に驚いたが、マロロス市でも変わらない対応。フィリピンのおもてなし精神の表れ。
- ☞ そのまま、2階のホールに通され、「ウェルカムプログラム」と題したセレモニーが開催。会場内には、学生も含めた約100人が出席。
- ☞ 双方の国歌斉唱や関係者の紹介の後、ベリンダ会長の挨拶、山崎市長の英語スピーチ。貝殻でできたジプニーの時計、ジプニーの模型を受け取る。
- ☞ 3階の教室では日本語教室を見学。講師は日本人と中国人の夫婦で、日本語のスピーキングなどを教えていた。（壁には「住んでよかった綾部」の文字が張り出されるなどの配慮も。）



歓迎の横断幕（学校前道路）



子どもたちの歓迎（学校前道路）



子どもたちによる歓迎（玄関前）
※中央はバルトロメ会長



記念撮影（ホールにて）



日本語の授業風景①



教室内の貼り紙
※綾部市に対する心遣いが感じられる



日本語の授業風景②



日本語の授業風景③



施設外観 (資料画像)

**AYABE CITY LOCAL GOVERNMENT DELEGATION VISIT
PROVINCE OF BULACAN**

WELCOME PROGRAM
GATVSI Pavilion, 9:00 - 9:20 am
November 16, 2015 (Wednesday)

- I. Entrance of Guests
- II. Opening Prayer **Ms. Violy Maclang Santos**
School Head, LAMS Rocks
- III. Entrance of Colors **LAMS Cadets**
(Philippines, Japan, Global Arcs and LAMS)
- IV. National Anthem (Philippines and Japan)
- V. Brief Welcome and Introduction.. **Ms. Sui DC. Mariano**
School Head, LAMS Annex
- VI. Welcome Remarks.....**Ms. Belinda B. Bartolome**
Chairman of the Board, GATVSI and LAMS
- VII. Message **Hon. Zenya Yamazaki**
Mayor of Ayabe City

Ma'am Sui DC. Mariano
Lady of Ceremony

ITINERARY

8:00 AM	-	LUSCENT HOTEL GC
9:00 AM	-	GATVSI PLARIDEL
9:00-9:20 AM	-	WELCOME PROGRAM (GATVSI PAVILION)
9:20-9:50 AM	-	OBSERVATION OF CLASSES - GATVSI
9:50-10:15 AM	-	TRAVEL TO PROVINCIAL CAPITOL
10:15-11:00 AM	-	VISIT TO PROVINCIAL GOVERNMENT
11:00-11:15 AM	-	TRAVEL TO LAMS
11:15-12:00 NN	-	OBSERVATION OF CLASSES - LAMS SHS
12:00-1:00 PM	-	LUNCH (HAPAG RESTAURANT)

ウェルカムプログラムのしおり



【ブラカン州政府】

○所在地：Province Capital Compound, Malolos City

○相手方（代表者）：WILHELMINO M.SY ALVARADO（州知事）

☞ 玄関前には、知事・副知事の顔写真が入った歓迎の横断幕が掲げられ、ブラスバンドの演奏で歓待を受ける。天気も良く気温も高いためスーツ姿には厳しい暑さ。

☞ 庁舎の市民開放日で廊下も一般人で溢れており、珍しそうに見られながら知事室に入る。知事室にも、一般市民や報道陣が立ち並び途中でアルバラド知事と面会。

☞ スケジュールが押し気味に推移し時間がほとんど足りなくなったが、先方の強い要望もあり、昼食会場（Hapag Restaurant）に移動。時間の都合もあり、わずか 15 分程度で昼食会場から次の日本語学校へ移動。



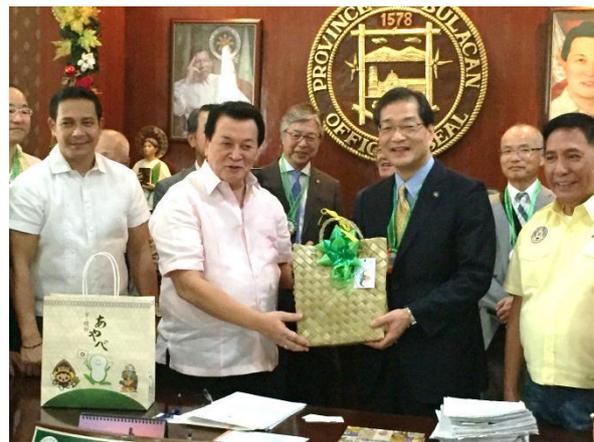
ブラカン州政府



記念撮影（ブラカン州政府玄関前にて）



記念撮影（ブラカン州知事室にて）①



記念撮影（ブラカン州知事室にて）②
※市長左側がアルバラド知事、その隣が副知事



昼食会会場①



昼食会会場② ※市長右側が議長、左側が藤野理事

【ローズ エンジェルス モンテッソーリ スクール】

○所在地：178 Dahllia, Alido Subd, Malolos City

○相手方（代表者）：MS.BELINDA B. BARTOLOME

○日本語学校（GATVSI）の母体となっているモンテッソーリ教育を行うシニアハイスクール

☞1階・2階の5つの教室で日本語での挨拶などを披露してもらい、それぞれ山崎市長からお礼を述べる。時間の関係上、かなり駆け足になった。



子どもたちによる歓迎（学校前道路）



記念撮影（玄関前にて）
※市長右側がバルトロメ会長



日本語教室の様子①



日本語教室の様子②

【富士通ダイテックコーポレーション】

○所在地：

第1工場: 113 East Science Avenue, SEPZ, Laguna Technopark, Binan City

第2工場: 111 East Main Avenue, SEPZ, Laguna Technopark, Binan City

○相手方（代表者）：関山慎二（社長）

○施設概要：

- ・ラグナテクノパーク内に1996年（平成8年）に設立。
- ・敷地面積：第一工場 35,500 m²、第二工場 23,338 m²
- ・ATM・POSなどの金融端末コンポーネント、部品加工、金型などを製造
- ・従業員数は約2,200人で、うち正規職員が約1,200人

*ラグナテクノパーク

- ・1989年（平成元年）に設立
- ・マニラ首都圏（マカティ市）から約30kmで、敷地面積が460万m²を占める工業団地
- ・多くのフィリピン企業、外資系企業（中国、米国、フランス、シンガポール、日本など）が立地
- ・主な日本企業は、富士通、トヨタ、ホンダ、いすゞ、パナソニック、サンヨー等の系列

☞はじめに、担当者が会社概要をスライドにて説明。

☞従業員は非正規職員が比較的多く、年齢層もかなり若い印象。日本人商工会議所等で伺った話のとおり女性が占める割合もかなり高い。

☞組織図を目に見える形で表示したり、積極的に改善活動に取り組むなど、フィリピン人従業員の育成や能率アップに力を入れている様子。

☞女性の産後のケアを家族ぐるみで行うなど日本に比べ体制が整っており、職場復帰が早い傾向にある。



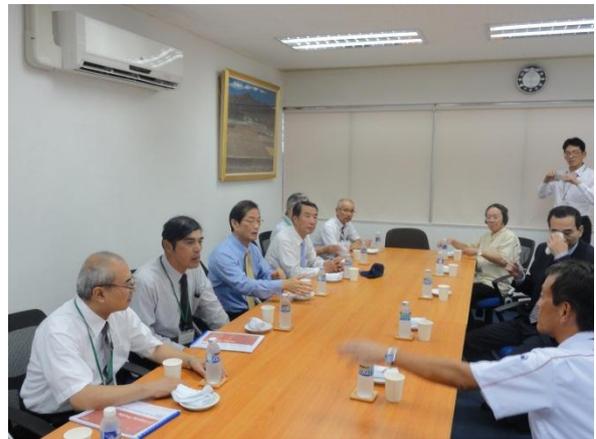
担当者による概要説明（第1工場）



工場内見学①（第1工場）



工場内見学②（第1工場）



担当者との意見交換①（第2工場）



担当者との意見交換②（第2工場）
※手前左側から関山社長、石井社長、村山社長



記念撮影（第2工場玄関前にて）



11月17日(木) 天候：(日本)晴 (マニラ)晴

【主な日程】

ホテル発	8:00	(宿泊) ルクセント・ホテル
	9:00	市内中心部視察 ～9:30
	10:30	シュー マート ショッピング センター ～11:30
マニラ空港着	12:00	マニラ空港到着
マニラ空港発	14:05	マニラ空港出発 (フィリピン航空 408 便)
関西空港着	19:10	関西空港到着
関西空港発	19:45	関西空港出発
綾部市着	22:00	綾部市役所到着・解散

【全体の流れ】

☞ 渡航最終日。ホテルを 8 時に出発し、マニラ首都圏 (メトロ・マニラ) 周辺を視察。

- ・イントラムロスと呼ばれる城壁都市の中にあるマニラ大聖堂を見学。イントラムロスの周辺には公園やゴルフコースなどが広がっている。公園内にはホームレスの姿 (子ども連れ) も見られる。

☞ 10 時 30 分に空港近くの SM マート (ショッピングセンター) へ到着。施設内部の見学とお土産等を購入した後、マニラ (ニノイ・アキノ) 空港へ。

☞ 空港に到着し、2 人のガイドとお別れ。マニラ空港 14 時 05 分発、フィリピン航空 408 便にて関西国際空港 19 時 10 分着。

- ・マニラ空港は、日本の地方空港並みの広さで、盗難などの心配はあまりない様子。出国手続きなども比較的スムーズに進んだ。

☞ 行政バスにて綾部市役所まで (22 時解散)

(迎え) 企画政策課 横山主事



マニラ大聖堂 (外観)



記念撮影 (マニラ大聖堂内にて)



空港近くのシューマート（外観）
※フィリピンでは9月頃からクリスマス一色



空港近くのシューマート（内観）
※日本車も並ぶ

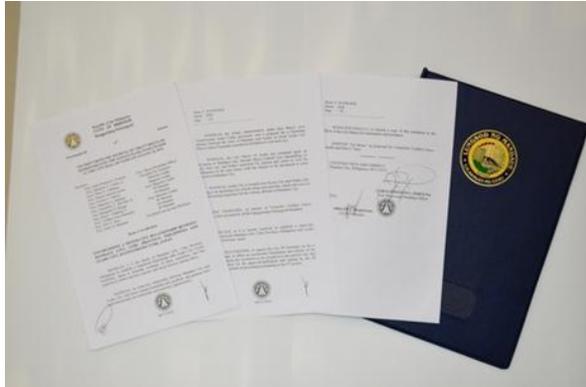


ニノイ・アキノ空港（フィリピン航空 408 便）



(参考)

<フィリピンからの主なお土産など>



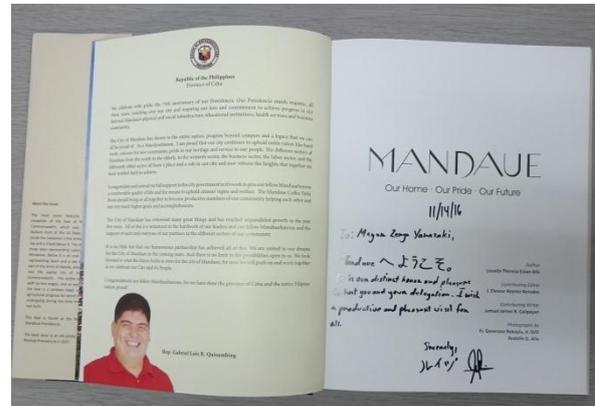
両市長のサイン (マンダウエ市役所)



シンボルキー (マンダウエ市役所)



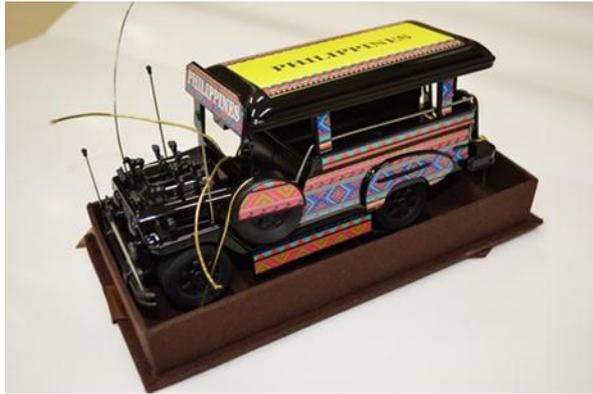
ブソランプ (マンダウエ市役所)



市勢要覧 (市長サイン入り)
(マンダウエ市役所)



帽子 (サンミゲルコーポレーション)
Tシャツ (マンダウエ市役所)



ジブニーの置物
(ブラカン州・グローバルアークス)



ジブニーの貝殻時計
(ブラカン州・グローバルアークス)

<綾部市から持参したお土産など>

品 名	数 量
お茶セット	13 セット
黒谷和紙・名刺入れ	8 個
黒谷和紙・コースター	20 個
まゆピー人形	1 体
まゆピーストラップ	20 個
ボールペン	30 本
折り紙 (千代紙)	20 個
扇子	8 本

